

5 . 火災時の処置

- 消 火 剤 : 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡等
使ってはならない消火剤 : 棒状水
特有の危険有害性 : 情報なし
特有の消火方法 : 初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場所は、容器及び周辺に散水し冷却する。
消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

6 . 漏出時の処置

作業の際は保護具を着用する。付近の着火源を取り除く。関係者以外の立ち入りを禁止する。少量漏出の場合は、灯油等の溶剤で拭き取る。大量漏出の場合は、かき集めて、密閉できる空容器に回収する。漏出したものを下水や側溝等に流してはならない。

7 . 取扱いおよび保管上の注意

- 取 扱 い : できるだけ眼、皮膚との接触を避ける。必要に応じて保護具を着用し、換気の良い場所で作業する。
保 管 : 容器を密閉し、換気の良い冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8 . 暴露防止および保護処置

- 管 理 濃 度 : 設定されていない
許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 設定されていない
ACGIH TLV 設定されていない
設 備 対 策 : ミストまたは蒸気の発生する場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。
保 護 具 : 必要に応じて有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋、長袖作業衣等を使用する。

9 . 物理的および化学的性質

- 外 観 等 : 白色グリース
臭 い : わずかな臭気
p H : 情報なし
融 点 : 情報なし
沸 点 : 情報なし
引 火 点 : 216 (セタ)
爆 発 限 界 : 情報なし
蒸 気 圧 : 情報なし
蒸 気 密 度 : 情報なし
比 重 : 0.84 (20)
溶 解 度 : 水 ; 不溶
n-オクタノール / 水分配係数 : 情報なし
自然発火温度 : 情報なし
分 解 温 度 : 情報なし

10 . 安定性および反応性

- 安 定 性 : 通常状態では安定である。
反 応 性 : 強酸化剤と反応する。

避けるべき条件 : 酸化剤
混触危険物質 : 強酸化剤
危険有害な分解生成物 : 情報なし

1 1 . 有害性情報

急性毒性 : 情報なし
皮膚刺激性 : 長期間または繰り返し皮膚に接触した場合は刺激性の恐れがある。
刺激性(眼) : 長期間または繰り返し眼に接触した場合は刺激性の恐れがある。
感作性 : 情報なし
生殖細胞変異原性 : 情報なし
発がん性 : 情報なし
生殖毒性 : 情報なし
特定標的毒性/全身毒性(単回暴露) : 情報なし
特定標的毒性/全身毒性(反復暴露) : 情報なし
呼吸性呼吸器有害性 : 情報なし

1 2 . 環境影響情報

魚毒性 : 情報なし
分解性 : 情報なし
蓄積性 : 情報なし

1 3 . 廃棄上の注意

内容物や容器を指定廃棄物処理業者に産業廃棄物として委託する。

1 4 . 輸送上の注意

国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。
海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

1 5 . 適用法令

消防法 : 非該当
P R T R 法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
有機溶剤中毒予防規則 : 非該当
船舶安全法 : 非該当
航空法 : 非該当
港則法 : 非該当
輸出貿易管理令 : 非該当
水質汚濁防止法 : 油分排出規制
海洋汚染防止法 : 油分排出規制
下水道防止法 : 鉱油排出規制

1 6 . その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。